

原子力発電所事故に伴う
放射線量等測定に係る対応方針

< 測定状況・計画編 >

平成 23 年 8 月

岩 手 県

目 次

(測定状況・計画編)

(1) 住環境等

ア	空間線量率	・ ・ ・ ・ ・	P.1
イ	降下物	・ ・ ・ ・ ・	P.2
ウ	水道水	・ ・ ・ ・ ・	P.3

(2) 教育施設等

ア	学校等の施設		
・	県立学校	・ ・ ・ ・ ・	P.4
・	公立の小中学校	・ ・ ・ ・ ・	P.5
・	私立学校	・ ・ ・ ・ ・	P.6
・	保育所などの児童福祉施設等	・ ・ ・ ・ ・	P.7
イ	公園等公共施設	・ ・ ・ ・ ・	P.8

(3) 農林水産物等

ア	農林水産物		
・	穀物	・ ・ ・ ・ ・	P.9
・	野菜	・ ・ ・ ・ ・	P.10
・	果樹	・ ・ ・ ・ ・	P.11
・	畜産物	・ ・ ・ ・ ・	P.12
・	特用林産物	・ ・ ・ ・ ・	P.13
・	水産物	・ ・ ・ ・ ・	P.14
イ	飼料	・ ・ ・ ・ ・	P.15
ウ	堆肥	・ ・ ・ ・ ・	P.16
エ	農用地土壌	・ ・ ・ ・ ・	P.17
オ	流通食品	・ ・ ・ ・ ・	P.18

(4) 産業活動

ア	工業製品	・ ・ ・ ・ ・	P.19
イ	下水汚泥	・ ・ ・ ・ ・	P.20
ウ	廃棄物		
・	焼却灰	・ ・ ・ ・ ・	P.21
・	し尿汚泥	・ ・ ・ ・ ・	P.22
・	災害廃棄物	・ ・ ・ ・ ・	P.23
エ	企業局工業用水道	・ ・ ・ ・ ・	P.24
オ	浄水発生土	・ ・ ・ ・ ・	P.25

(1) 住環境等						
ア 空間線量率 (定期測定)			担当部署	環境生活部 環境保全課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	空間線量率	毎日 (24 時間)	盛岡市 (岩手県環境保健研究センター)	モニタリングポストによる空間線量率の測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	空間線量率	定期 (毎日)	盛岡市	サーベイメータによる空間線量率の測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	空間線量率	定期 (毎週)	一関市	サーベイメータによる空間線量率の測定	県 (一関保健福祉環境センター)	県公式ホームページ
今後の対応	空間線量率 継続実施。	毎日 (24 時間)	盛岡市 (岩手県環境保健研究センター)	モニタリングポストによる空間線量率の測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	空間線量率 継続実施。	定期 (毎日)	盛岡市	サーベイメータによる空間線量率の測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	空間線量率 継続実施。	定期 (毎週)	一関市	サーベイメータによる空間線量率の測定	県 (一関保健福祉環境センター)	県公式ホームページ
備考	<p>< これまでの対応 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 空間線量率 国 (文部科学省) の委託事業として、従前から実施している。 空間線量率 原発事故後、国の指示を受けて従前より測定頻度を増やして実施している。 空間線量率 事故のあった原発に近い県南部の代表点として一関市を選定し、定期的に測定している。 <p>< 今後の対応 > 継続して実施する。</p>					

(1) 住環境等						
イ 降下物			担当部署		環境生活部 環境保全課	
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	降下物	H23.3.18～ (毎日)	盛岡市 (岩手県環境保健研究センター)	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
今後の対応	降下物	毎日	盛岡市 (岩手県環境保健研究センター)	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
備考	<p><これまでの取り組み> 国(文部科学省)の委託事業として、従前から実施している。 原発事故後、国の指示を受けて従前より測定頻度を増やして実施している。</p> <p><今後の取り組み> 国(文部科学省)の委託事業として、今後も継続して実施する。</p>					

(1) 住環境等						
ウ 水道水			担当部署	環境生活部 環境保全課 県民くらしの安全課		
測定対象	実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応	水道水	毎日	盛岡市	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	水道水	毎週	一関市	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	水道水	H23.4.25～ H23.7.11	上記以外の市町村	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
今後の対応	水道水	毎日	盛岡市	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	水道水	毎週	一関市	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 水道水(盛岡市) 国(文部科学省)の委託事業として、従前から実施していたもの。原発事故後、国の指示を受けて従前より測定頻度を増やして実施している。 水道水(一関市) 事故のあった原発に近い県南部の代表点として、県が定期的に測定している。 水道水(その他の市町村) 原発事故後、県内各市町村の水道水について県が独自に測定した。 <p><今後の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡市の測定は、今後も国(文部科学省)の委託事業として継続実施する。 一関市の測定は、今後も県が継続実施する。 					

(2) 教育施設等						
ア 学校等の施設 (県立学校)			担当部署	教育委員会事務局 スポーツ健康課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応						
今後の対応	空間線量率	H23.8月下旬 ～ H23.9月下旬	雨樋、軒下、側溝等	サーベイメータによる空間線量率の測定	県 (民間業者に委託)	県公式ホームページ
	空間線量率	H23.11月以降、 定期的に(月1回程度)実施	グラウンド、校庭、園庭等	サーベイメータによる空間線量率の測定	県 (県教委:スポーツ健康課、教育事務所または各学校)	県公式ホームページ
備考	<p><今後の対応></p> <p>空間線量率</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての県立学校を対象として雨樋、軒下、側溝等の空間線量率を調査測定し、局所的に高い箇所を特定する(委託事業)。 調査の結果、(校庭等の国庫補助基準である)1 μSv/時を超えている箇所については、線量低減のための土壌処理等を実施。 <p>空間線量率</p> <ul style="list-style-type: none"> サーベイメータ(7台)を購入予定であり、納品後、各教育事務所に配置したうえで、県立学校の空間線量率を測定(以降、定期的に測定)。 併せて積算線量計も購入することとしており、空間線量率の測定結果により、必要に応じて一定期間の測定を学校に依頼(予定)。 					

(2) 教育施設等						
ア 学校等の施設 (公立の小中学校)			担当部署	環境生活部 環境保全課 教育委員会事務局 スポーツ健康課		
測定対象	実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応	空間線量率	H23.7.6～ H23.7.7	小中学校の屋外 (グラウンド等)及び屋内(教室)	サーベイメータによる空間線量率の測定(地上50cm、100cm)	県 (県教委:スポーツ健康課、県南教育事務所)	教育記者クラブに資料提供及び県公式ホームページ
	プール水	H23.7.6～ H23.7.7	小中学校のプール	職員が検体を採取し検査機関に分析を依頼	県 (岩手県環境保健研究センター)	
	土壌	H23.7.6～ H23.7.7	小中学校のグラウンド	職員が検体を採取し検査機関に分析を依頼	県 (弘前大学被ばく医療総合研究所)	
	空間線量率	H23.8.8～ H23.8.9	小中学校の屋外 (グラウンド等)及び屋内(教室)	サーベイメータによる空間線量率の測定(地上50cm、100cm)	県 (県教委:スポーツ健康課、県南教育事務所)	教育記者クラブに資料提供及び県公式ホームページ
	プール水	H23.8.10～ H23.8.11	小中学校のプール	職員が検体を採取し検査機関に分析を依頼	県 ((財)環境科学技術研究所(青森県六ヶ所村))	
今後の対応	空間線量率	H23.8月下旬～ H23.9月上旬	小中学校の屋外 (グラウンド等)及び屋内(教室)	サーベイメータによる空間線量率の測定(地上50cm、100cm)	県 (県教委:スポーツ健康課、県南教育事務所)	教育記者クラブに資料提供及び県公式ホームページ
	プール水	H23.8月下旬～ H23.9月上旬	小中学校のプール	職員が検体を採取し検査機関に分析を依頼	県 (県外 の検査機関)	
	空間線量率	H23.9月以降	雨樋、軒下、側溝等	サーベイメータによる空間線量率の測定	学校の設置者 (設置者による)	県公式ホームページ
	空間線量率	H23.11月以降	学校のグラウンド等	サーベイメータによる空間線量率の測定(地上50cm、100cm)	学校の設置者 (設置者による)	県立学校分は県公式ホームページ等
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 他の地域と比べて空間線量率が比較的高い値を示している県南4市町(奥州市、一関市、平泉町、藤沢町)に所在する小、中学校についてサンプリング調査を実施。 <p><今後の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 他の地域と比べて空間線量率が比較的高い値を示している県南4市町(奥州市、一関市、平泉町、藤沢町)に所在する小、中学校についてサンプリング調査を実施。 市町村等が実施する空間線量率の測定に要する経費に対し、県が補助を行う(補助率:1/2)。 <p>(11月以降における空間線量率の測定について)</p> <ul style="list-style-type: none"> サーベイメータ7台分を購入予定であり、納品後、各教育事務所に配置したうえで、県立学校分の測定を実施(以降、定期的に測定)。 なお、希望する市町村に対し機器を貸与。 					

(2) 教育施設等						
ア 学校等の施設 (私立学校)			担当部署	総務部 法務学事課		
測定対象	実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応						
今後の対応	学校における空間線量率	H23.8月以降	私立学校 (幼稚園、小・中、高等学校)	サーベイメータによる空間線量率の測定	市町村または私立学校の設置者 (設置者による)	各施設のホームページ等
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校への情報提供を実施。 <p><今後の対応></p> <p>学校における放射線量</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村等が実施する、学校における空間線量率の測定に要する経費に対し、県が補助を行う。 (補助率：1/2) 					

(2) 教育施設等						
ア 学校等の施設 (保育所などの児童福祉施設等)			担当部署	保健福祉部 児童家庭課 障がい保健福祉課		
測定対象	実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応	県立児童福祉施設等における空間線量率	H23.8.5～ H23.8.17	・いわて子どもの森 (一戸町奥中山) ・県立杜陵学園 (盛岡市厨川) ・福祉総合相談センター (盛岡市本町通) ・一関児童相談所 (一関市竹山町) ・宮古児童相談所 (宮古市和見町) ・県立療育センター (盛岡市手代森)	サーベイメータによる空間線量率の測定 (地上 50 cm 等)	県 (各施設で実施)	各施設のホームページ等
	保育所等における空間線量率	H23.6月～	保育所、放課後児童クラブ等の児童福祉関連施設等	サーベイメータによる空間線量率の測定 (地上 50 cm 等)	児童福祉関連施設等の設置者 (設置者による)	各市町村のホームページ等
今後の対応	県立児童福祉施設等における空間線量率	H23.10月以降 (2回目)	・いわて子どもの森 (一戸町奥中山) ・県立杜陵学園 (盛岡市厨川) ・福祉総合相談センター (盛岡市本町通) ・一関児童相談所 (一関市竹山町) ・宮古児童相談所 (宮古市和見町) ・県立療育センター (盛岡市手代森)	サーベイメータによる空間線量率の測定 (地上 50 cm 等)	県 (各施設で実施)	各施設のホームページ等
	保育所等における空間線量率	H23.8月以降 (市町村によっては、従前に引き続き、継続して実施)	保育所、児童館、放課後児童クラブ等の児童福祉関連施設等	サーベイメータによる空間線量率の測定 (地上 50 cm 等)	児童福祉関連施設等の設置者 (設置者による)	各市町村のホームページ等
備考	<p><これまでの対応> 保育所等における空間線量率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村等が実施する、保育所等における空間線量率の調査に要する経費に対し、県が補助を行う。 (補助率：1/2、既調査分も対象とすることとして調整中) <p><今後の対応> 県立児童福祉施設等における空間線量率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目以降については、各保健所にサーベイメータが追加配備される平成23年10月以降に実施予定。 <p>保育所等における空間線量率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村等が実施する、保育所等における空間線量率の調査に要する経費に対し、県が補助を行う。 (補助率：1/2) 					

(2) 教育施設等						
イ 公園等公共施設			担当部署	環境生活部 環境保全課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの 対応	空間線量率	H23.6.9～ H23.6.16	各合同庁舎敷地	サーベイメータ による空間線量 率の測定	県 (環境保全課)	県公式ホー ムページ
	空間線量率	H23.6.21～ H23.6.23	胆江、両磐地域、陸 前高田市、大槌町	サーベイメータ による空間線量 率の測定	県 (環境保全課)	県公式ホー ムページ
	空間線量率	H23.7.15～ H23.7.27	県内市町村(滝沢村 及び胆江、両磐地区 を除く 28 市町村) の役場庁舎及び公 園等	サーベイメータ による空間線量 率の測定	県 (環境保全課)	県公式ホー ムページ
	空間線量率	H23.8.8～ H23.8.10	胆江、両磐地域の役 場庁舎及び公園等	サーベイメータ による空間線量 率の測定	県 (環境保全課)	県公式ホー ムページ
今後の 対応	空間線量率	毎月	胆江、両磐地域の役 場庁舎及び公園等	サーベイメータ による空間線量 率の測定	県 (環境保全課)	県公式ホー ムページ
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 空間線量率 県内の放射線量を把握するため、県内各合同庁舎敷地の測定した。 空間線量率 これまでの測定結果において比較的高い値を示している県南地域を重点的に測定した。 空間線量率 先に実施した県南地域を除く地域について測定した。 空間線量率 これまでの測定結果において比較的高い値を示している県南地域について、2 回目の測定を実施した。 <p><今後の対応></p> <p>これまでの測定で比較的高い値を示した県南地域について、定期的に測定を実施する。</p>					

(3) 農林水産物等						
ア 農林水産物 (穀物)			担当部署	農林水産部 農産園芸課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	小麦	H23.8.10	花巻市、一関市、奥州市、雫石町、紫波町、藤沢町	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	六条大麦	H23.8.10	奥州市、藤沢町	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
今後の対応	米(予備調査)	H23.9月上旬	一関市、陸前高田市、奥州市、平泉町、藤沢町	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
	米(本調査)	H23.9月上旬以降	全市町村	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 小麦 県内で麦を集荷している全ての農協の管内を対象。 六条大麦 県内で麦を集荷している全ての農協の管内を対象。 <p><今後の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 米 予備調査は、県が実施した空間線量率の調査の最大値(地上1m)が0.1μSv/時(小数点以下第2位を四捨五入した値)を超える市町村を対象に実施。 本調査は、全市町村を対象に実施。 					

(3) 農林水産物等						
ア 農林水産物 (野菜)			担当部署	農林水産部 農産園芸課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	レタス	H23.5.13 H23.6.22	花巻市、岩手町、 矢巾町、一戸町	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター)	県公式ホー ムページ
	トマト	H23.6.15 H23.8.3	一関市、奥州市	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター)	県公式ホー ムページ
	ほうれんそう	H23.6.15	久慈市、八幡平市	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター)	県公式ホー ムページ
	きゅうり	H23.6.29 H23.8.3	一関市、二戸市、 奥州市、紫波町	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター)	県公式ホー ムページ
	ピーマン	H23.6.29 H23.8.3	花巻市、奥州市、 藤沢町	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター)	県公式ホー ムページ
	キャベツ	H23.6.29	八幡平市、岩手 町	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター)	県公式ホー ムページ
	なす	H23.8.3	一関市、奥州市	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター)	県公式ホー ムページ
今後の対応	きゅうり	H23.9月上旬	一関市、陸前高 田市、奥州市、 金ケ崎町	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
	ピーマン	H23.9月上旬	岩手町、藤沢町、 九戸村	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
	ほうれんそう	H23.10月上旬	遠野市、軽米町、 洋野町	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
	ねぎ	H23.8月下旬、10 月中旬	花巻市、一関市、 雫石町、矢巾町	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
	だいこん	H23.9月下旬、10 月中旬	宮古市、葛巻町、 岩手町	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
	さといも	H23.10月中旬	北上市	ゲルマニウム半 導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷盛期を迎える主要品目(販売額が多いもの)について調査を実施。 各品目の出荷量の多い市町村を選定。 <p><今後の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、出荷盛期を迎える主要品目について、各品目の主要産地市町村を選定し、調査を実施。 					

(3) 農林水産物等						
ア 農林水産物 (果樹)			担当部署	農林水産部 農産園芸課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの 対応	りんご	H23.8.17 H23.8.24	盛岡市、花巻市、 一関市、二戸市、 奥州市	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (岩手県環境保健 研究センター)	県公式ホー ムページ
	りんご	H23.10月上旬	盛岡市、花巻市、 一関市、二戸市、 奥州市、滝沢村、 紫波町	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (岩手県環境保健 研究センター、県 外の検査機関)	県公式ホー ムページ
今後の 対応	ぶどう	H23.8月下旬	花巻市、紫波町	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (岩手県環境保健 研究センター、県 外の検査機関)	県公式ホー ムページ
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷盛期を迎えるりんごについて調査を実施。 各品目の出荷量の多い市町村を選定。 <p><今後の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、出荷盛期を迎える主要品目について、各品目の主要産地市町村を選定し、調査を実施。 					

(3) 農林水産物等						
ア 農林水産物 (畜産物)			担当部署	農林水産部 畜産課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	牧草	H23.5.11以降 随時	27市町村	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
	原乳	H23.5.11以降 随時	県内の冷却・貯蔵 の機能を有する施 設(全13施設)	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (財)環境科学技術 研究所(青森県))	県公式ホー ムページ
今後の対応	牧草	H23.8月以降 随時	6市町村(11エリ ア)等	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (財)環境科学技術 研究所(青森県))	県公式ホー ムページ
	原乳	H23.8月以降 随時	県内の冷却・貯蔵 の機能を有する施 設(全13施設)	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (財)環境科学技術 研究所(青森県))	県公式ホー ムページ
	肉用牛	H23.8.30以降 随時	全頭検査対象農家 及び全戸検査対象 農家	NaI(Tl)シンチ レーションスペ クトロメータ又 はゲルマニウム 半導体検出器に よる測定	県 (財)岩手県薬剤師 会、(社)新日本検定 協会)	県公式ホー ムページ
	豚	H23.10月下旬	一関市、野田村	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
	鶏	H23.10月下旬	二戸市、住田町	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
	鶏卵	H23.10月下旬	金ケ崎町、洋野町	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
備考	<p><これまでの対応></p> <p>牧草</p> <ul style="list-style-type: none"> 県北西部及び県南部の一部市町村において、牧草中の放射性セシウムが、乳牛・肥育牛に給餌できる暫定許容値(300Bq/kg)を超過したため、6市町村11エリアに利用自粛等を要請(H23.8.9現在)。 <p>原乳</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで、13施設全てで、暫定規制値を下回る。 <p><今後の対応></p> <p>牧草</p> <ul style="list-style-type: none"> 暫定許容値を超過した市町村の一部エリアの利用自粛等の解除に向けて調査等を継続。 <p>原乳</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の冷却・貯蔵の機能を有する全13施設を対象に、月1回の調査を継続。 <p>肉用牛</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な飼養管理の徹底と安全管理体制の整備を内容とする検査計画に基づき調査を実施。 <p>豚、鶏、鶏卵</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷頭羽数の多い市町村において調査を実施。 					

(3) 農林水産物等						
ア 農林水産物 (特用林産物)			担当部署	農林水産部 林業振興課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応						
今後の対応	原木生しいたけ (施設栽培)	H23.8 下旬	奥州市、矢巾町、 洋野町	ゲルマニウム半導 体検出器による測定	県 (岩手県環境保健 研究センター、県 外の検査機関)	県公式ホームページ
	原木生しいたけ (露地栽培)	H23.10 月中旬	一関市、山田町、 洋野町	ゲルマニウム半導 体検出器による測定	県 (岩手県環境保健 研究センター、県 外の検査機関)	県公式ホームページ
	菌床しいたけ	H23.8 下旬	久慈市、一関市、 岩泉町	ゲルマニウム半導 体検出器による測定	県 (岩手県環境保健 研究センター、県 外の検査機関)	県公式ホームページ
備考	<p>< 今後の対応 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な特用林産物について、各品目の主要産地市町村を選定し、調査を実施。 					

(3) 農林水産物等							
ア 農林水産物 (水産物)				担当部署	農林水産部 水産振興課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応	回遊性魚種	スルメイカ	H23.7.28	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
	沿岸性魚種	ミギガレイ	H23.6.22	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
		キツネメバル	H23.6.22	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
		アイナメ	H23.7.22	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ
今後の対応	回遊性魚種	スルメイカ	H23.8.26	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
		秋サケ	H23.9月下旬 H23.10月下旬 H23.11月下旬 H23.12月下旬	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
		タラ類	H23.10月下旬 H23.11月下旬 H23.12月下旬	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
		サバ類	H23.8.26 H23.9月下旬	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
		ブリ	H23.10月下旬 H23.11月下旬 H23.12月下旬	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
	沿岸性魚種	カレイ類	H23.9月下旬	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
		ソイ・メバル類	H23.10月下旬	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
		アイナメ	H23.11月下旬	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
		ミズダコ	H23.8.26 H23.12月下旬	釜石沖	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県(岩手県環境保健研究センター、県外の検査機関)	県公式ホームページ
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な回遊性魚種・沿岸性魚種を対象として調査を実施。 ・ ワカメなどの採介藻対象種と養殖対象種については、漁業団体が実施。 <p><今後の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な回遊性魚種・沿岸性魚種を対象として調査を実施。 ・ ワカメなどの採介藻対象種と養殖対象種については、漁業団体が実施。 						

(3) 農林水産物等						
イ 飼料			担当部署	農林水産部 畜産課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	飼料(稲わら)	H23.7.20以降 随時	県内の酪農家及び 肉牛飼養農家	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (岩手県環境保健 研究センター、県 外の検査機関)	県公式ホー ムページ
今後の対応	飼料(稲わら、 デントコーン 等)	H23.8月下旬 ～ H23.10月中旬	全市町村	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (財)環境科学技 術研究所(青森 県))	県公式ホー ムページ
備考	<p><これまでの対応></p> <p>飼料(稲わら)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の酪農家及び肉牛飼養農家の全戸(約7,400戸)を対象に、利用状況調査を実施。 <p><今後の対応></p> <p>飼料(稲わら、デントコーン等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 採集・収穫される稲わら・デントコーン等の飼料について、全市町村を対象に調査を実施予定。 					

(3) 農林水産物等						
ウ 堆肥			担当部署	農林水産部 農業普及技術課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	牛ふん堆肥	H23.8.15～ H23.8.17	遠野市、一関市、 陸前高田市、滝 沢村、平泉町、 藤沢町、大槌町	NaI(Tl)シンチレ ーションスペク トロメータによ る測定	県 (岩手県医薬品衛生 検査センター)	県公式ホー ムページ
今後の対応	牛ふん堆肥	H23.11月以降 随時	牧草の放射性セ シウム濃度が 300Bq/kgを超 える市町村等	・ゲルマニウム半 導体検出器に よる ・NaI(Tl)シンチ レーションス ペクトロメー タによる測定	県 (岩手県環境保健研 究センター、県内外の 検査機関)	県公式ホー ムページ
備考	<p><これまでの対応> 牛ふん堆肥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 牧草の放射性セシウム濃度が 300Bq/kg を超える市町村等を対象。 <p>稲わら堆肥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が実施した空間線量率(地上1m)の調査の最大値が0.1μSv/時(小数点以下第2位を四捨五入した値)を超える市町村を対象。 <p><今後の対応> 牛ふん堆肥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 牧草の放射性セシウム濃度が 300Bq/kg を超える市町村等を対象に調査を実施。 					

(3) 農林水産物等						
エ 農用地土壌			担当部署	農林水産部 農業普及技術課		
測定対象	実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応						
今後の対応	県内の農地	H23 年度中	県内全域の農地	ゲルマニウム半 導体検出器によ る測定	県 (県外の検査機関)	県公式ホーム ページ
備考	<p><今後の対応></p> <p>県内の農地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国と連携して「農地土壌中の放射能濃度分布マップ」を作成。 					

(3) 農林水産物等						
オ 流通食品			担当部署	環境生活部 県民くらしの安全課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	牛肉	H23.7.22～	県内全域	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ等
	牛肉	H23.8.2～	県内全域	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (一財)山形県理化学分析センター)	県公式ホームページ等
今後の対応	牛肉	検体確保時 (週1回)	県内全域	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (岩手県環境保健研究センター)	県公式ホームページ等
	牛肉	検体確保時 (随時)	県内全域	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (一財)山形県理化学分析センター)	県公式ホームページ等
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 流通調査の過程で検体確保が可能な場合に検査を実施。 <p><今後の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 流通調査の過程で検体確保が可能な場合に検査を実施。 					

(4) 産業活動						
ア 工業製品 (木製品、金属製品、工具、部品など)			担当部署	商工労働観光部 科学・ものづくり振興課 産業経済交流課		
測定対象	実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応	工業製品 (輸出品、国内流通品)	H23.4.7～現在 (計37回、152点測定)	企業現地、 岩手県工業技術センター (盛岡市)	サーベイメータ による空間線量率の測定	製造者等 (岩手県工業技術センター)	依頼企業に対し結果通知 (一般への公表等については、依頼企業の判断により対応。)
今後の対応	これまでの対応を継続					
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 料金：原則、有料。 ただし、震災対応として、年度内無料。 ・ 測定単位：cpm、$\mu\text{Sv/h}$。 ・ 測定対象：表面汚染測定で足りるもの。 (対象例：電子機器、機械、金属・樹脂・木工製品など) 					

(4) 産業活動						
イ 下水汚泥			担当部署	県土整備部 下水環境課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	脱水汚泥	H23.6 月以降	県(流域下水道) ・都南浄化センター (盛岡市東見前) ・北上浄化センター (北上市相去町) ・水沢浄化センター (奥州市水沢区) ・一関浄化センター (一関市中里)	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (民間検査機関)	記者発表及び 県公式ホームページ
			市町村(公共下水道・農業集落排水処理施設) ・関係市町村の浄化センター	ゲルマニウム半導体検出器等による測定	市町村 (民間検査機関)	関係市町村 公式ホームページ等
	焼却灰	H23.6 月以降	県(流域下水道) ・都南浄化センター ・北上浄化センター	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (民間検査機関)	記者発表及び 県公式ホームページ
	敷地境界等での空間線量率	H23.6 月以降	県(流域下水道) ・都南浄化センター ・北上浄化センター	サーベイメータによる空間線量率の測定	県 (浄化センター維持管理業者)	県公式ホームページ
今後の対応	脱水汚泥	当分の間	県(流域下水道) ・都南浄化センター ・北上浄化センター ・水沢浄化センター ・一関浄化センター	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (民間検査機関)	県公式ホームページ
			市町村(公共下水道・農業集落排水処理施設) ・関係市町村の浄化センター	ゲルマニウム半導体検出器等による測定	市町村 (民間検査機関)	関係市町村 公式ホームページ等
	焼却灰	当分の間	県(流域下水道) ・都南浄化センター ・北上浄化センター	ゲルマニウム半導体検出器による測定	県 (民間検査機関)	県公式ホームページ
	敷地境界等での空間線量率	当分の間	県(流域下水道) ・都南浄化センター ・北上浄化センター	サーベイメータによる空間線量率の測定	県 (浄化センター維持管理業者)	県公式ホームページ
備考	<p><これまでの対応> 脱水汚泥 県(流域下水道) : 国からの通知により平成 23 年 6 月から、脱水汚泥が発生する全ての浄化センターで測定。測定方法は国の通知()等に基づく。 市町村(公共下水道・農業集落排水処理施設) : 実施時期及び測定場所は、県の通知を受け関係市町村が脱水汚泥の発生状況等を勘案し、独自で決定する。測定方法は国の通知()等に基づく。 焼却灰 県(流域下水道) 国からの通知により平成 23 年 6 月から、焼却炉のある浄化センターで測定。測定方法は国の通知()等を参考に選択。 敷地境界等での空間線量率 県(流域下水道) 国からの通知により平成 23 年 6 月から、焼却灰を保管している浄化センターで測定。測定方法は一般的に用いられている方法を選択。</p> <p><今後の対応> 脱水汚泥 県(流域下水道) : 国からの通知等で測定の必要性がなくなるまでの間、測定を継続。測定場所は脱水汚泥が発生する全ての浄化センター。測定方法は国の通知()等に基づく。 市町村(公共下水道・農業集落排水処理施設) : 実施時期及び測定場所は関係市町村が脱水汚泥の発生状況や汚泥中の放射性物質の検出状況等を勘案し、独自で決定する。測定方法は国の通知()等に基づく。 焼却灰 県(流域下水道) 国からの通知等で測定の必要性がなくなるまでの間、測定を継続。測定場所は焼却炉のある浄化センター。測定方法は国の通知()等を参考に選択。 敷地境界等での空間線量率 県(流域下水道) 国からの通知等で測定の必要性がなくなるまでの間、測定を継続。測定場所は焼却灰を保管している浄化センター。測定方法は一般的に用いられている方法を選択。 汚泥肥料中に含まれる放射性セシウムの取扱いについて(H23.6.30 付 23 北消第 188 号東北農政局長通知)</p>					

(4) 産業活動						
ウ 廃棄物 (焼却灰)			担当部署	環境生活部 資源循環推進課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	一般廃棄物焼却施設の焼却灰	H23.6.30～ H23.9月(予定)	県内全域 (19施設)	ゲルマニウム 半導体検出器 による測定	市町村等 (市町村等施設設置者の測定委託機関)	県公式ホームページ
	産業廃棄物焼却施設の焼却灰 (先行調査)	H23.5.6～ H23.7.22	県内全域 (13施設)	ゲルマニウム 半導体検出器 による測定	県 (岩手県環境保健研究センターまたは施設設置者の測定委託機関)	(環境省で事業者と調整をした後、一括公表を予定。)
今後の対応	今後の状況を踏まえて対応する					
備考	<p><これまでの対応></p> <p>一般廃棄物焼却施設の焼却灰</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定は各事業者が対応。 県は計画及び結果の取りまとめ・公表を担当。 国の当面の取り扱い方針 <ul style="list-style-type: none"> 8,000Bq/kg以下の主灰(燃え殻)及び飛灰は、一般廃棄物最終処分場(管理型処分場)に埋立処分。 8,000～100,000Bq/kgの主灰(燃え殻)及び飛灰は、一時保管。 なお、10,000Bq/kg以上の焼却灰については電離放射線障害防止規則での管理が求められる。 <p>飛灰は、焼却炉の煙から除かれた塵や埃。</p> <p>産業廃棄物焼却施設の焼却灰(先行調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国からの要請に基づき、県内の産業廃棄物焼却施設について県が調査したもの。 国の当面の取り扱い方針 <ul style="list-style-type: none"> 先行調査の結果を受けて方針が決まる予定 					

(4) 産業活動						
ウ 廃棄物 (し尿汚泥)			担当部署	環境生活部 資源循環推進課		
測定対象	実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応	し尿汚泥 (汚泥肥料の原料となるもの)	6月以降	し尿処理施設 (関係市町村)	ゲルマニウム 半導体検出器 等による測定	市町村等 (施設設置者の測定委託機関)	各し尿処理施設管理者(関係市町村)が判断
今後の対応	し尿汚泥 (汚泥肥料の原料となるもの)	継続実施	し尿処理施設 (関係市町村)	ゲルマニウム 半導体検出器 等による測定	市町村等 (施設設置者の測定委託機関)	各し尿処理施設管理者(関係市町村)が判断
備考	<p>< これまでの対応 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の当面の取扱い方針等(関連事項抜粋) <p>原料汚泥中の放射性セシウム濃度が200Bq/kg以下である汚泥肥料は流通させて差し支えないものとする。 原料汚泥の排出者は、原料汚泥の引渡をしたときは、原料汚泥の放射性セシウム濃度等を記載した帳簿を作成し、2年間保存すること。また帳簿の写しを岩手農政事務所あて提出すること。</p>					

(4) 産業活動						
ウ 廃棄物 (災害廃棄物)			担当部署		環境生活部 資源循環推進課	
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	がれき	H23.6.27	野田村 (土府ヶ浦)	サーベイメータによる 空間線量率の測定	県 (民間調査機関)	報道発表 (H23.8.1)
	がれき (がれき焼却時の 排ガス測定も 併せて実施)	H23.6.29	九戸村 (いわて第 2クリーン センター)	・ゲルマニウム半導体 検出器による測定 ・サーベイメータによ る空間線量率の測定	県 (民間調査機関)	報道発表 (H23.8.1)
	がれき	H23.7.12	陸前高田市 (曲松)	・ゲルマニウム半導体 検出器による測定 ・サーベイメータによ る空間線量率の測定	県 (民間調査機関)	報道発表 (H23.8.9)
	がれき	H23.7.13	宮古市 (藤原埠頭)	・ゲルマニウム半導体 検出器による測定 ・サーベイメータによ る空間線量率の測定	県 (民間調査機関)	報道発表 (H23.8.9)
	がれき	H23.7.28	山田町 (船越)	・ゲルマニウム半導体 検出器による測定 ・サーベイメータによ る空間線量率の測定	県 (民間調査機関)	分析結果が判 明次第、報道発 表予定
	がれき	H23.7.28	大槌町 (小槌)	・ゲルマニウム半導体 検出器による測定 ・サーベイメータによ る空間線量率の測定	県 (民間調査機関)	分析結果が判 明次第、報道発 表予定
	がれき	H23.7.29	田野畑村 (浜岩泉)	・ゲルマニウム半導体 検出器による測定 ・サーベイメータによ る空間線量率の測定	県 (民間調査機関)	分析結果が判 明次第、報道発 表予定
今後の対応	がれき	未定	災害廃棄物 仮置場	・ゲルマニウム半導体 検出器による測定 ・サーベイメータによ る空間線量率の測定	県 (民間調査機関)	県公式ホーム ページ上に掲 載
備考	<p><これまでの対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸被災地のがれきにおける空間線量率測定を実施。 野田・宮古・陸前高田の測定値は報道発表済み。 分析結果が判明次第、報道発表し、県公式ホームページ上に掲載する。 					

(4) 産業活動						
エ 企業局工業用水道			担当部署	企業局 業務課		
測定対象		実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表
これまでの対応	工業用水	H23.7.5	・第一北上中部工業用水道、 ・第二北上中部工業用水道	NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ機器分析法	県企業局 (民間検査機関)	県公式ホームページ
	工業用水道脱水汚泥	H23.6.27 H23.7.11 H23.7.22 H23.7.29 H23.8.12	・第一北上中部工業用水道、 ・第二北上中部工業用水道	NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ機器分析法	県企業局 (民間検査機関)	県公式ホームページ
今後の対応	工業用水	未定 (備考のとおり)	・第一北上中部工業用水道、 ・第二北上中部工業用水道	NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ機器分析法	県企業局 (民間検査機関)	県公式ホームページ
	工業用水道脱水汚泥	原則、月1回程度	・第一北上中部工業用水道、 ・第二北上中部工業用水道	NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ機器分析法	県企業局 (民間検査機関)	県公式ホームページ
備考	<p><これまでの対応></p> <p>工業用水</p> <p>工業用水の安全確認のために7月5日に測定実施。それ以降については次の場合に予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脱水汚泥の測定結果が高い場合に行う。 ・ 水道水から暫定規制値を超える放射性物質が検出された場合に行う。 <p>工業用水道汚泥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脱水汚泥については委託処分(委託先でのセメント原料として再利用等)を行っているが、放射能測定結果を受け、委託先が脱水汚泥を受け入れる場合には現行の委託処分を継続し、脱水汚泥を受け入れない場合には国が示した基準に基づき企業局の施設内に保管。 ・ 施設内に保管した脱水汚泥については、国が示している埋立処分が可能な範囲内(8,000 Bq/kg以下)であり、埋立処分に向け、関係機関と協議・調整を行っていく。 ・ 国が示している埋立処分が可能な範囲を超える場合には、今後、国が示す考え方に基づいて、処理を行う予定。 <p><今後の対応></p> <p>工業用水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の検査を継続する(脱水汚泥の測定結果が高い場合及び水道水から暫定規制値を超える放射性物質が検出された場合に検査を行う)。 <p>工業用水道汚泥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の検査を継続する。(原則、月1回程度。ただし、脱水汚泥を移動する場合にはその都度実施) 					

(4) 産業活動						
オ 浄水発生土 (水道事業者)			担当部署	環境生活部 県民くらしの安全課		
測定対象	実施時期	測定場所	測定方法	実施主体 (測定実施機関)	結果の公表	
これまでの対応	浄水発生土	H23.6.14	盛岡市内4カ所の浄水場	ゲルマニウム半導体検出器による測定	盛岡市 (民間検査機関)	盛岡市公式ホームページ
今後の対応	浄水発生土	随時	市町村及び企業団の浄水場	ゲルマニウム半導体検出器による測定	市町村及び水道企業団 (各市町村等の測定委託機関)	各市町村等による
備考	<p><これまでの対応></p> <ol style="list-style-type: none"> 市内4カ所の浄水場の浄水発生土を測定した。 国が示す埋立処分や保管の基準となっている8,000Bq/kgを大幅に下回っている。 水道水からは核分裂生成物は検出されていない。 <p><今後の対応></p> <ol style="list-style-type: none"> 市町村及び企業団で原水から水道水をつくる過程で浄水発生土が発生する。(浄水方法により発生しない市町村がある。) 浄水発生土の処分のための搬出頻度は市町村によって異なるため、測定も随時行われる。 					